

市立病院跡地活用事業について

(今後の進め方)

市は、市立病院跡地の活用について、平成16年度に「市立総合病院跡地活用整備事業提案競技（以下「プロポーザル」という）を実施し、優先交渉権者（株）自然堂（現（株）極楽湯）を決定しました。このプロポーザルの経過について、市は地域に情報を提供してきましたが、地域の細部には伝わっていなかったことがわかりました。市はこの状況を受けて、改めて当該地周辺地域に呼びかけ、その代表者等からなる地域検討会を設置し、討議を重ねてきました。

今年の11月には、この検討会から検討内容の報告を受け、市はこの報告に沿って事業を進めていくことにしました。

▼地域検討会の報告を受けた市の対応・概要

市は、平成16年度に明快な手続きを経て実施したプロポーザルの白紙撤回はできないものとして、平成18年12月、この地域検討会の報告に沿った手続きとして、検討会が示した付加条件を優先交渉権者に提示し、この条件に対する事業者の提案を求めました。

▼地域検討会の条件項目・概要

- ① 契約解除に伴う施設の撤去について
- ② 営業時間（午後11時から翌朝6時までの営業停止）について
- ③ 住居専用地域の生活環境の維持に



▲旧市立病院跡地

ついて

- ④ 車両の利用を含む諸問題について
- ⑤ 将来にわたる環境への影響について

▼事業者の提案内容・概要

- ① 契約終了時には施設が建設される前の状態に戻します
- ② 営業時間は、午前9時から午後11時までとします
- ③ 当該施設は地域検討会が決定した基本方針に即した施設です
- ④ 車両の利用を含む諸問題は、周辺住民と協議しながら進めます
- ⑤ 東京都で定める基準を遵守して温泉を提供します

▼市立病院跡地活用事業に関する市の決定事項

市は、事業者の提案内容について内容を審査し、各条件に対する市の考えをまとめ、方向性を次のように決定しました。

▼事業者の提案に関する市の見解

地域検討会の条件項目①～④に対する事業者提案は、基本的に条件を満たす提案であると判断しました。条件項目⑤については、温泉掘削データが十分でない現状では、東京都の許可基準を遵守して事業を進めることは妥当であると考えます。

▼市の決定事項

市は、（株）極楽湯（旧（株）自然堂）が、今後「日野市まちづくり条例」に従い、周辺住民と協議を行いつつ事業を進めていくことに決定しました。

地域検討会の報告書は、市内各図書館で、報告を受けた市の対応、優先交渉権者の提案に対する市の考えと方向性についての詳細は、市ホームページ、市内図書館、当該地周辺自治会に回覧、地域の広報板でご覧になれます。

▽問合せ先 企画調整課